

キャラクター名  
ティカ=ロリエントール

プレイヤー名

種族	ダークドwarf	種族特徴	暗視、黒炎の担い手		
生まれ	野伏	性別	女	年齢	15
冒険者Lv	11	経歴	貧弱な人族軍より、蛮族と戦いたい。		
経験点	200		一族を滅ぼされた。 長年幽閉されていた。		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	15	14		38 + 2	6
体	10	敏捷度	2	4	-6	9	1
		筋力	7	10		27	4
		生命力	1	12		23	3
心	7	知力	5	1		13	2
		精神力	16	9		32	5

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	11	アルケミスト	1
プリースト/ダルクレム	7	ライダー	8
マジテック	1		
スカウト	3		
レンジャー	5		
エンハンサー	5		

戦闘特技				
タフネス	2122p			p
治癒適性	2122p			p
全力攻撃	1-286p			p
武器習熟A/スピア	1-281p			p
頑強	1-279p			p
超頑強	1B29p			p
魔力撃	1-292p			p
防具習熟A/金属鎧	1-282p			p
				p
				p
				p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドワーフ語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
アンチボディ	
メディテーション	
リカバリィ	
騎獣の献身	
高所攻撃	
チャージ	
騎獣強化	
人馬一体	
特殊能力解放	
姿勢堅持	
超高所攻撃	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	11	17	12	15
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	のろまなフォートレス		27	-3	10
盾	マナタイト加工のタワーシールド		20		3
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					2
回避技能	ファイター	合計値	9		16

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ノーマルスピア	1H	20	-1	2d+ 16	10	16	25										
ノーマルスピア	1H騎	20	-1	2d+ 16	10	16	35										
ルールドウガー	1H両	18		2d+ 18	10	17	28										
ルールドウガー	2H	18	1	2d+ 19	10	17	33										
頭突き	1H#	1	2	2d+ 19	10	15	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	9 m	27 m

回避	防護点
2d+ 9	16

HP
101

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	7	9			
魔動機術	1	3			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 10/×	2d+ 4

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 14	2d+ 17

MP
56

装備品	説明
頭 マギスフィア小	
耳 石人の耳飾り	敏捷度-6、防護点+1
顔 コンパットメイドグラス	
首 聖印	ダルクレム
背中	
右手 アルケミーキット	
腰 多機能フラックベルト/不動のバックル	
足	
その他 器用の腕輪	

装備品	説明
左手 正しき信念のリング	

その他メモ	自動失敗 チェック
<p>適当なキャラづけ</p> <p>身体が生まれつき弱く、小さい頃は病に臥せがちであった。だが、寝込んでいる間は母親が本を読み聞かせてくれ、それをいつも楽しみにしており、むしろ「はやく風邪ひきたいな」と思っていたほどであった。そんな日に読み聞かせてもらった冒険小説に感銘を受け、封鎖領より飛び出し各地を旅したいと父親に話したところ「ははっ、猟犬を倒せるぐらいに強くなれたらな。」と却下された。ならばと、一人で猟犬に戦いを挑んだが、死にかけ、そこを封鎖領から逃げ出すために力をつけていた蛮族のおっさんに助けられ、命からがら逃げだすことができた。おっさんがティカが猟犬に戦いを挑み死にかけたことを両親に話したところ、両親はティカのその行動力を畏れ、家の一部を改造し、座敷牢としてそこから出ることを禁じた。しかし、流石に夢も希望も与えずに閉じ込めるだけでは可哀想だと思い、両親は蛮族のおっさんに、ティカに軽くでいいから修行をつけてやってくれと依頼した。おっさんは了承し、修行の合間合間に「力が無いのに大きな夢を持つな。力が全てだ。」と話しており、時には「強くなりたかったら強者と手合わせを行うのが一番だ。」と言い、直接戦闘技術を教えることもあった。</p> <p>そんなある日、おっさんが突然修行をつけに来なくなった。母さんが言うには、猟犬に襲われそのまま死んでしまったようだ。死んでしま</p>	<p>□□□□⑤</p> <p>□□□□⑩</p> <p>□□□□⑮</p> <p>□□□□⑳</p> <p>□□□□㉑</p> <p>□□□□㉒</p> <p>□□□□㉓</p> <p>□□□□㉔</p>

